

めでいかすどる
Médicastre



「流 麗」

鶴岡地区医師会

19年 4月号

脳梗塞急性期治療 - 最近の話題 -

岩手医科大学 神経内科

寺山靖夫

高齢化とともに増加しつつある脳梗塞を全身の動脈硬化性血管病変による血管病の一分症として捉えることにより、急性期脳梗塞における血栓形成と閉塞のメカニズムに関する研究は飛躍的に進歩した。これにより、t-PA (tissue plasminogen activator)に代表される抗血栓療法、エダラボンに代表される脳保護療法、抗凝固薬であるアルガトロバンや抗血小板薬のアスピリン、クロピドグレル、オザグレルナトリウムなどによる治療を病態に応じて選択することが可能となり、これら薬剤の適応と効果がさらに高いエビデンスレベルで明らかになってきている。また、脳梗塞の二次予防に関する基礎的研究の進歩にとともに、ARB、スタチン、シロスタゾールなどが有する降圧作用、動脈硬化改善作用、および血小板凝集抑制作用のみならず脳血管への多面的でポジティブな効果の背景にある共通メカニズムも明らかになりつつあり、これらの薬剤の脳梗塞急性期治療への応用が期待されている。

脳梗塞急性期治療においては的確な病態の理解に加えて、迅速な診断のための努力が重要であるが、新たな治療法が次々と生み出されている状況に反して、個々の急性期患者の病態と病巣をタイムリーにかつ確実に把握することは容易ではなかった。近年、超高磁場 MRI、MDCT や頸部血管の三次元的超音波診断技術の進歩によりこの分野にも大きな進展がみられ、急性期脳梗塞における閉塞の病態を短時間で画像としての確かつ客観的にとらえて適切な治療法を選択することが可能になってきた。超高磁場 MRI・MRA により従来ラクナ梗塞と考えられていた病変の詳細が明らかにされ、抗血小板薬に加えて高脂血症

薬など、閉塞機転を考慮した治療が行われるようになってきた。さらに MRI による T2*イメージの登場によって無症候性小出血巣の検出が容易になったが、これは通常 MRI 画像で梗塞と考えられていた病巣の中に小出血病巣が少なからず存在することを意味しており、画像機器の発展によりラクナ梗塞診療のあり方と難しさが浮き彫りにされてきたことも事実である。頸部超音波検査の分野でも大きな進歩があり、3D/4D 超音波エコーによって頸動脈プラークの立体的な描出が可能になり、内服薬や頸動脈内膜剥離術などの治療効果判定に役立つようになってきている。

今後期待される診断技術と治療の可能性をいくつか紹介し、変貌する脳梗塞急性期診療の方向性を展望する。

総会後の懇親会、米寿・喜寿祝賀会並びに医院永年勤続者表彰式

日時：平成19年3月23日

場所：グランドエル サン

【 米寿・喜寿を迎えられた会員 】

米寿 森国 トクエ 先生 佐久間 文雄 先生
喜寿 齋藤 洋子 先生

【 永年勤続者表彰受賞者 】

遠藤医院 寒河江 春美 様	黒羽根整形外科 石田 久美子 様
滝沢眼科 渡部 真理子 様	黒羽根整形外科 本間 美紀 様
滝沢眼科 秋山 和子 様	今野内科胃腸科医院 五十嵐 由美 様
滝沢眼科 齋藤 登美 様	

謝 辞

春の息吹がそこここに感じられる今日の佳き日、私たちのためにこのように盛大な式典を催して頂き、ありがとうございます。永年勤続者を代表して一言御礼申し上げます。

非力な私が二十年という永きに亘り、大過なく勤めさせて頂きました陰には、バイタリティ溢れる院長のご指導、家族のように接してくれた奥さんの存在、共に笑い共に悩みいつも支えてくれた同僚、しなやかな感性で私を刺激してくれる後輩、そして家族の理解と協力がありました。「周りの人達に支えられてここまでやってこれた」という思いは、私たち七人の共通の思いです。

ここにあらためて深く感謝いたします。

「光陰矢の如し」とは申しますが、振り返ってみますと医療を取り巻くこの二十年には激動のという形容詞が最もふさわしい気がします。猫の目のように変わる法令、患者負担の相次ぐ増額、介護保険導入、荘内病院移築NET4U・電子カルテ等ITの波、かかりつけ医、個人情報保護法、院内感染・・・数えだしたらきりがありません。

医療に携わる者の一人として、ベテランと言われても、それを褒め言葉として受け取る時代ではない事を自覚せざるをえません。常にアンテナを張り巡らし、今、自分に何が求められているのかを察知し、日々の業務に精進いたします。

最後になりましたが、鶴岡地区医師会の益々のご発展を祈念し謝辞といたします。

(黒羽根整形外科 石田久美子)



第 85 回 定時総会要約

(平成 19 年 3 月 22 日 (木) 午後 6 時 30 分)

1. 開会 (黒羽根議長)

2. 資格確認 (菅原庶務課長)

会員総数 188 名、6 時 30 分現在の出席者数 25 名、委任状の提出者 125 名、計 150 名で過半数を満たしている為、本総会が成立する旨、報告。

3. 会長挨拶 (中目会長)

佐藤耕一事務次長の件に関して陳謝及び報告。
会計様式の表記方法変更について報告。

4. 議事録署名人選出 (黒羽根議長)

議長の指名により、滝沢元先生、渡部直哉先生を選出。



5. 議事

最初に新様式について説明。(佐藤人事経理課長)

①平成 18 年度 補正予算 (案) 承認の件 (各担当理事)

議案書及びパワーポイントにて説明。

→ [湯田川温泉リハビリテーション病院・医師会事業会計]

(質問：齋藤壽一先生)

未収金についてはどのようになっているのか。また、回収の期限は。

(回答：今野事務部長、大井総務課長)

取り扱いについては、病院経営委員会にて市と医師会で折半とすることとしていたが、その後最高裁の判例があった為、進捗していなかった。

期限については取り決めていなかったの確認し、後日回答する。

②平成 19 年度 鶴岡地区医師会事業計画 (案) 承認の件 (中目会長)

議案書及びパワーポイントにて説明。

→質問、異議なし

③平成 19 年度 鶴岡地区医師会会費賦課 (案) 承認の件 (中里理事)

議案書にて説明。

→質問、異議なし

④平成 19 年度 予算 (案) 承認の件 (各担当理事)

議案書及びパワーポイントにて説明。

→ [准看護学院事業会計]

(質問：齋藤壽一先生)

授業料収入について、どちらも1年生となっているが。

(回答：横山理事)

その通りなので、修正する。

(質問：齋藤壽一先生)

会議費支出について、体育大会はなくなったのではないか。

(回答：佐藤教務課長)

鶴岡単独実施の会を予定しており、体育大会として計上させていただいた。

[湯田川温泉リハビリテーション病院・医師会事業会計]

(質問：齋藤壽一先生)

人件費が収入を上回りそうであるが、どのようにお考えか。

(回答：竹田理事)

リハビリ収入を伸ばしていきたいと思う。

[介護老人保健施設みずばしょう事業会計]

(質問：齋藤壽一先生)

補助金等収入について、日本郵政公社は国庫ではないのではないか。

(回答：岡田理事)

確認し、後日回答する。

⑤固定資産廃棄処分承認の件（中里理事）

原案通り説明。

→質問、異議なし

6. 協議

臨時総会にて質問のあった、休日夜間診療所における医療訴訟に関して、中目会長より以下の通り回答。

争点は故意による過失か否かという点になるが、医師賠償責任保険により刑事・民事ともに1億5千万円補償される。

7. 閉会（黒羽根議長）

8時30分

マイペット&マイホビー

- 第44回 -

斎藤 憲 康

うちのペットは手乗りインコのラッキーとさくらです。

2年前の5月、子供達の「犬を飼いたい」、「猫を飼いたい」、「ハムスターを飼いたい」という声と、犬以外は苦手、犬の世話は大変で嫌だという妻の意見との妥協の産物として、手乗りインコを飼うことになりました。初めはオス、メスのつがいのはずだったのですが、成長してからお店の人に见てもらおうとどうもどちらもオスのようだとのこと、で、「まあ仲も悪くなさそうだし、子供も増えなくてちょうどいい」ということで今日に至っております。

初めは、子供達と「絶対に毎日世話をする。約束する。」と固い約束を交わして飼い始めたのですが、案の定守られたのは最初の一週間だけ、その後の世話はもっぱら妻の役目になってしまいました。

手乗りインコのはずでしたが、青い色のさくらは初めの間こそ少し手には乗るそぶりを見せたものの、後は逃げるのを追っかけて無理無理手に乗せてやらないと乗らなくなり、黄色のラッキーは初めから手に乗る気持ちなどさらさなく、マイペースで逃げ回るのみ、そのうち子供達も追いかけるのに疲れてしまい、また羽を切るのがかわいそうだということもあり、普通の「かごの鳥」となっていました。

ラッキーとさくらは全く世話を放棄してしまったのにも関わらず子供達の声には敏感に反応し、

夜暗くするためかごにカバーを掛けられても子供達が起きている間はぴーちくぱーちくと姦しく（男にこういう表現を使うのかどうかわかりませんが）、春休みに子供達が旅行に出かけてしまうと、人（鳥）が変わったようにおとなしくなってしまう。人を見る目はあるようで、妻には言いたい放題やかましいのですが、私が「うるさい」と一言言うと全く音を立てなくなってしまう。今春長女の卒業旅行で長期間独り身になった時には、がらんとした家に帰ったとき鳥の声でも何でも、少しでも生き物の気配が感じられるとほっとする自分を初めて発見しました。確かに独居老人になったときにはペットの存在は大きいんだなと改めて認識することができました。

子供達が大きくなって我が家を巣立っていったら、いつ独居老人になるか分かりませんので、



子供達とラッキー・さくら

ちょっと紙面が余ってしまいましたので、昔のマイホビーについて。

社会人になってはじめてミュージカルを見ました。文化会館で劇団四季の「コーラスライン」でした。前田美波里がオーディションでシーラ役を獲得したと評判になった時でした。はまりました。ミュージカルのバックコーラスのオーディションに集まった個性的な若者ひとりひとりを彼等の人生を含めて生き生きと描いている。すごいと思いました。

その後山大の医局に入り、学会に出かけたときにはよくミュージカルを見にいきました。

「キャッツ」「日曜日はダメよ」本田美奈子の「ミスサイゴン」等々、30歳でLAに留学したときは暇を見てLAで上演されたミュージカルは全て、そして長期の休みは格安チケットでNYに行き、毎日Take Outの中華料理を食べながらブロードウェイの劇場を回りました。「屋根の上のバイオリン弾き」「42ndストリート」ツイギーが出た「マイワン、アンドオンリー」、パイレーツオブカリビアン原作である「ペンザンスの海賊」、ゲイを主人公にした「ラカージョーフォール」、みんなが全裸であるのにいやらしさを全く感じない「オーカルカッタ」、「アニー」「ピーターパン」、トライツリーメンバーの「ファンタスティックス」、サーカスをモデルにした「バーナム」、最近映画になった「ドリームガールズ」等々。

荘内病院に赴任してからは冬休みにロンドンに行き、ダイアナ妃の住まいであるケンジントンパレス前の安宿に泊まりながら、「レミゼラブル」「オペラ座の怪人」「サンセット大通り」「クレイジーフォーユー」等々。

どれをとっても、オーディションで選ばれる役者は演技はもちろん歌は上手、踊りも上手で、舞

台装置も凝っていて、もう一度みたいと思わせる舞台ばかりでした。開業してからは診療時間の関係で酒田での公演も見に行くのは難しくなりましたが、早く現役を引退してもう一度ミュージカル三昧が出来ることを夢んでいるこの頃です。



ミュージカルのパンフレット PLAYBILL

スキー同好会紹介

『一斗二升五合』

スキー同好会会長 鈴木伸男

今年の医師会スキー同好会の合宿が3月10日(土)と11日(日)の2日間にわたって湯殿山スキー場で行われました。1～2月は異常な暖冬でしたので雪があるかどうかと心配しましたが、合宿に合わせて数日前から雪が降り、そして、幸いにも1日目は快晴に恵まれてそれぞれがそれぞれのペースで楽しみました。

さて、私は当会の発足からこれまでの間、会長を務めさせていただきましたが、今年の誕生日には75歳となり、日野原先生の唱える「新老人」の仲間入りをするのもあって、このたびその役を辞任させていただき、齋藤壽一先生にバトンタッチすることになりました。なお、会長の仕事は合宿の懇親会で挨拶をすることと助成金の関連書類にハンコを押すことくらいで、合宿の準備と運営はすべてその年の幹事からやっていただきました。この場をお借りして皆様に厚くお礼を申し上げますと共に、齋藤先生、今後、どうぞよろしく願いいたします。

ところで、平成6年にスタートしたスキー同好会の合宿も今年まで14回を重ねましたが、この機会にその中の3つ、4つを思い出してみたいと思います。

第1回は平成6年2月5日(土)に行われました。この年だけは日帰りで、湯殿山から帰ったあと滝太郎(錦町)で懇親会を行いました。私はまだ荘内病院に勤務していたときでしたが、医師会の職員と一緒にということで昼夜共々とても楽しかったことが忘れられません。



2回目からは1泊の合宿でした。定宿は“なかだい”でしたが、第3回の平成8年2月17日には田麦侯の“かやぶき屋”という創設150周年の文字どおりかやぶき屋根のスーパークラシックの造りの民宿に泊まりました。宴会場の真中に囲炉裏があり、宴会中は炭火が赤々と燃えていて身も心もポカポカでしたが、就寝後は暖房がなく、ほとんどの人が寒さのために眠れないままに布団の中で体を縮ませながらひたすら朝が来るのを待ちました。

昼食は“クラブハウス”で摂るのが恒例ですが、これまた圧巻です。2リットル以上は入るピッチャーの生ビールを何杯も飲み干し、店の人の話によりますと、シーズンを通して最高のお客様とのことでした。

肝心のスキーの話ですが、14回を通して怪我人が皆無であったことは何よりでした。近年、若い人はスキーよりもボードが多いようですが、そう言えば、壽一先生は来年はボードにチャレンジするとのことでした。新会長の心意気に負けないように会員一同頑張りましょう。なお、

スキーでもボードでも来年は大勢の皆様のご参加をお待ちしております。前に参加されたことのある渡部直哉先生、竹田浩洋先生、三浦二三夫先生、上野欣一先生、福原晶子先生、また、これまで参加したことはありませんでしたが、大学時代はクロスカントリーの選手として活躍し、休みのときにはトレーニングのために毎日ご自宅から羽黒の大鳥居までの往復約20kmを走り続けたという中目千之先生、そして、ボーダーの現役として毎シーズン10回以上は蔵王や湯殿山を滑りまくり、真冬でも日焼

けしておられる三原一郎先生、今度是非一緒に滑りましょう。

“なかだい”の宴会部屋に「一斗二升五合」と書いた額が掲げてあります。その意味について前から何回か聞いて私もやっと覚えました。1斗=5升の倍=ご商売、2升=升升=ますます、5合=1升の半分=半升=繁盛、すなわち「ご商売ますます繁盛」ということだそうです。それに因んで、当医師会のますますの隆盛とスキー同好会のさらなる発展を祈りながら筆を擱きます。

私のお勧めの店

その 18

横 山 靖

一般的に食されているマグロの種類をみなさんはどれぐらいご存知だろうか？

マグロといえば、まずはクロマグロ。いわゆる本マグロである。高級マグロの筆頭で、大間など釣り上げられているのもこれである。ついでミナミマグロ、別名インドマグロとも言われる。このマグロも高級品。いいミナミマグロのトロは、クロマグロに劣らない。名の知れた鮪屋などでも、季節的にいいクロマグロが手に入らないときなど、このミナミマグロを使うところもある。この2つが高級マグロで、今回漁獲量が厳しく規制された。そして庶民のマグロといえば、メバチとキハダマグロである。メバチは東日本で好まれ、キハダは西日本で好まれる。私たちがよくスーパーで見かけるのはメバチである。キハダは黄肌と書き、身の色はクロマグロのように赤くはなくピンクがかっている。そのことが

東日本では人気がないらしく、身がより赤い色をしたメバチの方が東日本では好まれるということらしい。しかしキハダは私は好きである。まずメバチより肌理が細かく、ほどよく脂も乗っておりうまいのだ。近所のスーパーで珍しくキハダが出てるとすぐ買ってしまふ。そして、最後はビンナガマグロ。お店によってはビンチョウという表記で売っている。このマグロは身が白っぽい感じで、マグロの赤い身のイメージから遠く、また脂っぽいため昔はあまり見向きもされなかった。しかし今は、マグロといえばトロが好まれる時代である。ビンナガの脂っぽさが逆に人気を呼び、最近はよく見かける。

前置きが長くなったが、今回ご紹介するのは海鮮料理の『あびこ』さん。大山の筋子屋さんが、開いたお店である。なぜこの店を選んだか、といえばマグロのいろいろな食べ方を楽しめるから

である。まずは生のマグロをたらふく食べたい人は、鮪づくし丼。さらに一工夫加えたものが海鮮スタミナ丼で、マグロと納豆、ネギが煮切り醤油であえられ、どんぶりのご飯に乗ってくる。さらに鮪ステーキ丼、これはぶつ切りの大きなマグロとタマネギが特製のタレで炒められたもので、ポテトサラダまで丼のご飯に乗っている。この甘めのタレは焼き肉のタレのような感じで、魚というより肉に近い感じのマグロの身とよく合うのだ。最後はミックス・フライ定食。エビやキスのフライに加え、大きなマグロのフライが付いてくる。このマグロのフライがうまいのだ。このお店にはYBCのピヨタマが取材に来てるが、女子アナさんもこのマグロ・フライを食べていた。値段もリーズナブルだし、帰りに本家の筋子屋さんに立ち寄り、おいしい筋子を買っていくのもいいかもしれない。

あびこ

住所 鶴岡市平成町6-25

TEL 0235-38-1007

エー（A）会員になりました

—新規開業医紹介— No. 9

須田内科クリニック 須田 克幸

山形大学医学部を56年に卒業し、H5年から13年間荘内病院に勤務、H18年10月に須田内科クリニックを開業いたしました。

開業を決心したのは開業半年前ころです。強い信念があった訳ではないのですが、開業の勧めがたて続けにあり、50歳を前に開業のラストチャンスかなと思ひ決心しました。勤務医の激務が言われている中、快く開業を認めてくれた荘内病院の院長、内科の先生方はじめ職員の皆さんには大変感謝しております。

開業してもうすぐ4ヶ月になりますが、1年以上たったように感じています。大勝先生がこのコーナーで「半年間は吐き気がするほど大変」と書いていたことが身にしみてよく分かりました。診療だけでなく、保健所や市役所などの書類、契約などが山のようにあり、大変でしたが、うちの場合は、妻が事務的な仕事をほとんどしてくれたので助けられました。

専門分野は、内科とくに代謝内分泌です。代謝内分泌の患者の大部分が糖尿病ですので、糖尿病が専門ですとっております。よく知られているように糖尿病の怖さは、糖尿病特有の合併症である神経障害、網膜症、腎症だけでなく、全身の様々の疾患



住 所 〒997-0011
鶴岡市宝田1丁目9-86
T E L 0235-26-7555
診療時間 月、火、水、金
9:00~12:30、14:30~18:00
木 9:00~12:30
土 9:00~12:30、14:00~16:00
休 診 日 日、祝祭日

と関連していることです。特に癌、心・脳血管障害といった重篤な疾患の合併も多く、自分1人でできることは高が知れていますので、抱え込まないで早くに専門医の協力を仰ぐことを心がけています。

暇のあるときは将棋やマージャンを楽しんでいます。両方とも大学に入ってから始めたので趣味歴30年くらいです。将棋の実力はせいぜい初段くらいなので趣味というもおこがましい程度のものですが、苦しい局面で逆転の手に気づいたときなどに言い表

せないほどの楽しさを感じます。いわゆる「アハ体験」と同じ快感があるのだと思います。旧荘内病院時代は内科の A 先生とよく指していましたが、人間とはそれ以来指しておらず、テレビの将棋番組やパソコン将棋のみで楽しんでいます。マーじゃんは将棋と違って運の要素が大きいし、4人の駆け引きがあり、勝ちたい欲と負けない理性との心理的葛藤がある最高の頭脳ゲームです。また優秀で楽しい人たちと交流できるのでやめられません。勝負手でつっぱるときなどは、何が飛び出すか分からないホラー映画的快感がありストレス解消ができます。1月から医師会麻雀同好会に参加しています。皆さん強くてなかなか勝てそうにありませんが、個性的な面々で楽しませて

らっています。

まだまだ知らないことが多く、皆さんにはご迷惑をお掛けする事があると思いますが、今後ともよろしく
お願い致します。



表 紙

「流麗」

真柄三夫

五年前の8月、家族の一泊旅行で仙台・秋保温泉ホテル佐勘に行った時のひとこま。一階フロアに作られた人工池に数十匹の錦鯉が色とりどりの美しい姿で遊泳していた。池の傍に近づくと、餌をねだるかの様に集まって来る。その瞬間の流麗な姿を辛うじて写しとめた一枚である。

～ 編集後記 ～

岡田恒人

3月には冬に逆戻りの日も見られましたが、4月に入り新年度を迎えてから春らしい日が多くなり、学生、社会人ともに新しい生活が始まりました。ところで、毎年受験生や皆を悩ませるインフルエンザウイルスも、4月になってからようやく減っていく方向にあるようです。インフルエンザウイルスは、抗原の連続変異などにより毎年流行し社会生活をいとなんでいる者を悩ませます。インフルエンザによる症状は他のウイルス感染症に比べ呼吸器、全身症状が強く、また合併症による死亡や障害も多くなるため、その症状合併症軽減を目的とした抗インフルエンザ薬が開発されました。インフルエンザ診断キットも開発されたこともあり、あわせて多く使用され、日本で処方された抗インフルエンザ薬（リン酸オセルタミビル）は世界の使用量の7割以上を占めるようにまでなったそうです。たしかにリン酸オセルタミビルの登場によりインフルエンザ患者の症状は軽減され合併症に悩ませられる症例も少なくなったように思われます。しかし連日マスコミによる報道がされているように、薬との関連が疑われるいたましい事故や耐性ウイルスの出現が問題となってきました。健康番組などで、インフルエンザに罹った患者にインフルエンザの特効薬を貰うことを勧めるなどのマスコミのミスリードも影響したと考えますが、我々医療人も診断キットでインフルエンザとわかったら時点で、患者の状態や治療薬の目的に沿った投薬なのかを評価せず、無批判にリン酸オセルタミビルなどの薬剤を処方していたことが現在の問題がでてきた一要因ではなかったかと思います。医療人が行なう治療は“健康を取り戻す”ことが目的です、目的を達成する方法を考える事が大事なのだと反省・・・です

編集委員：中村秀幸・伊藤末志・斎藤憲康・五十嵐裕・福原晶子・岡田恒人

発行所：社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail tsurumed@mwnet.or.jp

URL <http://www.mwnet.or.jp/~tsurumed/>

印刷所：富士印刷株式会社 鶴岡市美咲町27-1 TEL 22-0936(代)